



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
コード番号 3646 URL <https://ekitan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 金田 直之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 小嶋 勝也 TEL 03-6367-5951
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,641	△13.2	87	△26.7	33	—	42	—	12	—
2024年3月期第3四半期	3,044	28.3	119	△40.1	△15	—	△11	—	△743	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 13百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 △740百万円 (—%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	2.61	—
2024年3月期第3四半期	△153.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,438	1,604	65.8
2024年3月期	2,735	1,700	62.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,604百万円 2024年3月期 1,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,327	7.2	203	10.5	101	328.4	111	304.5	73	—	15.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社音生、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	6,018,800株	2024年3月期	6,018,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,297,841株	2024年3月期	1,176,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	4,783,315株	2024年3月期3Q	4,843,856株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2025年2月12日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会活動の正常化に伴う人流の回復、雇用や所得環境の改善を背景とした個人消費の改善やインバウンド需要の拡大の動きが見られる一方で、ウクライナ及び中東情勢の長期化といった地政学的な緊張や、長引く物価高による消費マインドの停滞や円安に伴う原材料価格上昇など、経済動向は先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループでは、地域軸でユーザーとサービスを繋げることを基本コンセプトとする事業構想「地域マーケティングプラットフォーム（Regional Marketing Platform「以下RMP」）」の具体化を推進しております。

このRMP構想推進で実施してまいりました新幹線チケット販売サービスの追加や地域コンテンツの強化によるユーザー増加などによるメディア収益の拡大、MaaSパッケージなどの地方自治体、地域事業者向けのソリューション展開の実現により、新たなマネタイズが確実に収益貢献してきております。

結果として、売上は、乗換案内有料会員や株式会社サークアの減収傾向の継続の影響が大きく、減収となりました。営業利益、経常利益では、前述したRMP構想の推進による収益拡大が貢献いたしました。費用面では、前第1四半期連結会計期間において発生しておりました株式会社駅探I&Iの会社設立及び株式取得に関する一時的なコストが発生しなかったこと、また、制度見直しを含めたコスト削減効果が奏功したことに加え、前連結会計年度に実施しましたのれん等の無形固定資産の減損による減価償却費の圧縮によるコスト減などの要因により、前第3四半期連結累計期間と比べて、大幅な改善を達成し、業績予想を上回るペースで進捗しております。また、前第3四半期連結累計期間において、特別損失として減損損失を計上していたため、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅に改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,641,847千円（前年同四半期比13.2%減）、EBITDAは87,976千円（前年同四半期比26.7%減）、営業利益は33,292千円（前年同四半期は15,152千円の営業損失）、経常利益は42,609千円（前年同四半期は11,829千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,473千円（前年同四半期は743,768千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの対前第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

①モビリティサポート事業

RMP構想推進によるメディア収益の拡大やソリューション展開などの新たなマネタイズが徐々に収益貢献してきているものの、乗換案内サービスのコモディティ化による継続的な有料会員の減少に伴い、当サービスにおける収益の減少が大きく、減収減益となりました。

この結果、売上高は1,041,590千円（前年同四半期比5.4%減）、EBITDAは238,912千円（前年同四半期比13.0%減）、セグメント利益は214,924千円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

②広告配信プラットフォーム事業

クラウドエンジン株式会社の増員による収益拡大は順調に推移しているものの、株式会社サークアにおいて、その取り巻く環境の厳しさが増したことの影響が大きく、結果として、減収となりました。利益面においては、前連結会計年度に実施しましたのれん等の無形固定資産の減損による減価償却費の圧縮によるコスト減、また、前第3四半期連結会計期間より実施しました株式会社サークアによるコスト削減、体制の見直しが奏功し、セグメント損失の幅は限定的となりました。

この結果、売上高は840,862千円（前年同四半期比27.0%減）、EBITDAは△7,230千円（前年同四半期は15,452千円）、セグメント損失は18,130千円（前年同四半期は59,569千円のセグメント損失）となりました。

③M&A・インキュベーション事業

グロースアンドコミュニケーションズ株式会社の増員による収益拡大は順調に推移しているものの、株式会社アイティジェイにおいて、前第1四半期連結会計期間に受注した大型案件の影響などで、当セグメントは減収となりました。利益面においては、減収の影響はあったものの、前第1四半期連結会計期間において発生しておりました株式会社駅探I&Iの会社設立及び株式取得に関する一時的なコストが発生しなかったことに加え、制度見直しを含めたコスト削減効果が奏功したことにより、セグメント利益は増益となりました。

当第3四半期連結累計期間では、売上高は764,230千円（前年同四半期比3.7%減）、EBITDAは83,207千円（前年同四半期比69.4%増）、セグメント利益は66,672千円（前年同四半期99.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,747,870千円となり、前連結会計年度末に比べ361,924千円減少しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少164,965千円及び現金及び預金の減少109,709千円によるものであります。固定資産は690,718千円となり、前連結会計年度末に比べ65,345千円増加しました。これは主に、無形固定資産「その他」の増加49,065千円及びのれんの増加15,234千円によるものであります。この結果、総資産は2,438,589千円となり、前連結会計年度末に比べ296,579千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は541,215千円となり、前連結会計年度末に比べ125,767千円減少しました。これは主に、買掛金の減少66,831千円及び賞与引当金の減少35,668千円によるものであります。固定負債は293,046千円となり、前連結会計年度末に比べ75,100千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少59,528千円及び役員退職慰労引当金の減少17,677千円によるものであります。この結果、負債合計は834,262千円となり、前連結会計年度末に比べ200,868千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,604,326千円となり、前連結会計年度末に比べ95,711千円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少55,318千円及び自己株式の増加49,998千円によるものであります。この結果、自己資本比率は65.8%となり、前連結会計年度末に比べ3.6ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,889	1,259,180
受取手形、売掛金及び契約資産	582,354	417,389
商品	599	117
仕掛品	16,573	16,298
原材料及び貯蔵品	933	667
その他	141,737	55,488
貸倒引当金	△1,292	△1,272
流動資産合計	2,109,795	1,747,870
固定資産		
有形固定資産	72,241	62,426
無形固定資産		
ソフトウェア	49,303	57,681
顧客関係資産	26,625	23,962
のれん	131,911	147,146
その他	119,161	168,226
無形固定資産合計	327,001	397,016
投資その他の資産		
その他	227,564	232,664
貸倒引当金	△1,433	△1,388
投資その他の資産合計	226,131	231,276
固定資産合計	625,373	690,718
資産合計	2,735,168	2,438,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,270	164,438
1年内返済予定の長期借入金	75,851	72,708
未払法人税等	18,623	18,325
賞与引当金	52,177	16,508
受注損失引当金	9,888	10,261
買付契約評価引当金	10,660	10,660
その他	268,511	248,312
流動負債合計	666,983	541,215
固定負債		
長期借入金	292,090	232,562
資産除去債務	17,310	17,310
役員退職慰労引当金	20,510	2,833
退職給付に係る負債	26,926	29,952
繰延税金負債	9,309	8,388
その他	2,000	2,000
固定負債合計	368,147	293,046
負債合計	1,035,130	834,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	309,595	318,482
利益剰余金	1,693,919	1,638,601
自己株式	△598,290	△648,289
株主資本合計	1,697,180	1,600,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,858	3,576
その他の包括利益累計額合計	2,858	3,576
純資産合計	1,700,038	1,604,326
負債純資産合計	2,735,168	2,438,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,044,472	2,641,847
売上原価	2,180,730	1,805,254
売上総利益	863,741	836,593
販売費及び一般管理費	878,894	803,300
営業利益又は営業損失(△)	△15,152	33,292
営業外収益		
受取利息	2,403	1,197
受取配当金	705	902
未払配当金除斥益	80	318
保険解約返戻金	963	9,619
利子補給金	939	197
その他	384	775
営業外収益合計	5,476	13,011
営業外費用		
支払利息	2,098	3,122
自己株式取得費用	—	571
その他	54	—
営業外費用合計	2,153	3,693
経常利益又は経常損失(△)	△11,829	42,609
特別損失		
固定資産除却損	648	—
リース解約損	1,320	—
減損損失	793,498	—
投資有価証券評価損	9,284	—
情報セキュリティ対策費	—	5,000
特別損失合計	804,751	5,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△816,580	37,609
法人税等	△73,895	25,136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△742,685	12,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,083	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△743,768	12,473

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△742,685	12,473
その他有価証券評価差額金	2,569	718
四半期包括利益	△740,115	13,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△741,339	13,191
非支配株主に係る四半期包括利益	1,224	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社音生の株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	モビリティサポート事業	広告配信プラットフォーム事業	M&A・インキュベーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,099,907	1,151,563	793,001	3,044,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,300	482	800	2,583
計	1,101,208	1,152,045	793,801	3,047,056
セグメント利益又は損失(△)	233,726	△59,569	33,346	207,504
減価償却費	40,980	45,465	4,922	91,368
のれん償却額	—	29,556	10,847	40,404
EBITDA(注)	274,707	15,452	49,117	339,277

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	207,504
全社費用(注)	△222,657
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,152

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、793,498千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「M&A・インキュベーション事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社駅探I&Iがグロースアンドコミュニケーションズ株式会社、株式会社サイバネット及び株式会社アイティジェイの株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、第1四半期連結会計期間においては68,961千円であります。

また、「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、345,855千円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)に当該のれんの減損も含めて記載しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	モビリティ サポート事業	広告配信プラット フォーム事業	M&A・インキュベ ーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,038,754	840,862	762,230	2,641,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,835	—	2,000	4,835
計	1,041,590	840,862	764,230	2,646,683
セグメント利益又は損失 (△)	214,924	△18,130	66,672	263,466
減価償却費	23,988	2,662	5,539	32,189
のれん償却額	—	8,237	10,995	19,233
EBITDA (注)	238,912	△7,230	83,207	314,889

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	263,466
全社費用 (注)	△230,174
四半期連結損益計算書の営業利益	33,292

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する事項

当第3四半期連結会計期間において、株式会社音生の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて65,599千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「広告配信プラットフォーム事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社音生の全株式を取得したことに伴い、新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては29,754千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、取得株式数150,000株、総額50,000千円を上限として2024年5月20日から2024年12月30日の期間で自己株式の取得を進めておりましたが、2024年12月23日時点で取得株式数121,300株、総額49,998千円を取得し、自己株式の取得は終了しております。

この取得等により、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が648,289千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	94,716千円	35,451千円
のれんの償却額	40,404千円	19,233千円